

花と緑の銀行だより

219号 2021.5



向野のエドヒガン 南砺市野口(城端) 2021.4.2
山田川の東岸に自生する、樹高15m、樹齢100年を超える孤高の大木

目次

- ・花と緑の提言 南砺市の花と緑のまちづくり (南砺支店) 2
- ・活動事例 滑川市の活動紹介 (滑川支店) 3
- ・技術講座 富山で育つ宿根草の組み合わせとデザイン タツタナデシコ (職藝学院 渡邊美保子) . . . 4
- ・緑づくりコーナー 庭木に利用する樹種の特徴と管理 ローズマリー (樹木医 西村正史) . . . 5
- ・とやまの花壇 富山市 寺崎啓乃さんの花壇 6
- ・この人あり ふれあいガーデンとともに (上市支店 上市地方銀行 西野幸子・山村きぬ子) . . . 7
- ・報告・お知らせ 6月~8月の主なイベントなど 7



南砺市の花と緑のまちづくり

花と緑の銀行 南砺支店長
南砺市長 田中幹夫

風がおるさわやかな季節になりました。日ごろ皆様方には、花と緑のまちづくりの推進に格別のご理解とご協力をいただいておりますことに深く敬意と感謝を申し上げます。

南砺市は、平成16年に4町4村が合併してできた、人口5万の市です。市としては17年目ですが、もとよりそれぞれ永い歴史と文化をもった地域の集まりです。善徳寺の門前町として栄えた城端、厳しい風土が育んだユネスコ世界文化遺産「五箇山合掌造り集落」、「演劇の聖地」として知られる利賀、日本遺産「木彫刻のまち 井波」、椿によるまちづくりを進める井口、毎年、菊まつりやスキヤキでまちが賑わう福野、世界のムナカタがインスピレーションを受けた福光。このように特色ある地域で季節折々の花が咲き、豊かな自然が生活の中に溶け込みながら美しい景観を育んでいます。

花と緑の施設としては、南砺市園芸植物園、いのくち椿館があります。それぞれの施設の特徴を活かし3月に「南砺いのくち椿まつり」、5月に「南砺花と緑のフェスティバル」、11月には「南砺菊まつり」と年間を通じて多くの花に関するイベントを開催し、井波高瀬遺跡での花しょうぶまつりや医王山麓でのあじさい祭り・しゃくなげまつり、福光新町商店街でのあさがおまつりなどとともに、地域振興と新たな花文化の創造・定着に努めています。

昨年度は残念ながら新型コロナウイルス感染症拡大のため、やむを得ず多くのイベントが中止となりましたが、令和3年度は「展示だけでも実施したい」という声が多くあがり「南砺花と緑のフェスティバル2021」では屋内外での展示に向けて現在準備を進めております（5月29日（土）、30日（日）開催）。南砺市園芸植物園を会場に、屋外及び屋内展示に絞り、様々な方法で広い空間を花で飾り、来場者の方々に楽しんでいただける内容にしたいと考えて工夫を凝らしています。



写真1 いのくち椿まつり 2021.3月

市外の皆様にも、南砺市園芸植物園にお越しいただき、コロナ禍のなかではありますが、ホッと心安らぐ花のある空間を楽しんでいただけましたら幸いに存じます。



写真2 南砺市花と緑のフェスティバル 2019.7月
全国花のまちづくり南砺大会と同時開催

また、花と緑の銀行事業とあわせて、平成23年度から「花いっぱいのもちづくり事業」を開始し、市内JR駅前や観光ポイントの一層の緑化に努めています。今年で11年目を迎え、頭取・グリーンキーパーの皆さんを主体に地域住民の皆さんとともに、自然環境や生活環境の保全、街の環境向上に努めておられ、花と緑に溢れるまちづくりが定着してきました。住民同士の交流の広がり、観光客へのおもてなし、ふるさとへの愛着に繋がるような花と緑によるまちづくりを目指して、今後とも事業の充実を図ってまいります。



写真3 五箇山IC前の花飾り（左）
JR福光駅前のおもてなし（右）

最後になりましたが、市民の皆様のご協力のもと、潤いと安らぎに満ちた花いっぱいのもちづくりに邁進していきたいと考えておりますので、頭取、グリーンキーパーの方々、市民の皆様には、一層のご支援、ご尽力を賜りますようお願い申し上げます。

滑川市の活動紹介

花と緑の銀行 滑川支店

滑川市公園緑地課 伊藤嘉亮

滑川市では、市民自らが“暮らしやすい住環境の向上”を目指して花と緑にあふれる街づくりを創造し、街路の植栽、フラワーロードの整備、花壇の運営など、潤い空間の整備に努めています。花と緑の銀行滑川支店は頭取9名、グリーンキーパー38名の計47名で全地区の緑化活動を担っており、そのメンバーで構成される「滑川市花と緑の活動推進協議会」は平成8年度に設立して以来、四半世紀に渡って様々な活動を実施してきました。

主な活動内容としては、市内各公共施設などへの花苗の配布のほか、地域花壇（置県百年記念花壇やシンボル花壇など全9箇所）と、滑川市スポーツ・健康の森公園内にある「市制施行60周年記念花壇」で、春と秋の花苗植えや花壇管理などを行っています。



写真1 60周年記念花壇の植栽（上）
ほたるいかプロムナードの植栽（下）

毎年5月には、市道滑川駅前線の中央分離帯（通称：ほたるいかプロムナード）と滑川駅南部の市道駅南環状線の歩道プランターに、地域住民の手で花苗を植え込み、初夏の滑川を色鮮やかな花で彩ります。

また、“滑川市が桜でいっぱい”になるように、「21世紀桜のまち推進事業」を平成13年度から展開し、桜の植栽や育成を町内会・企業・行政の協力によって進めています。

そのほか、令和元年度には市職員による「グリーンメンバー」が結成され、滑川産チューリップの植栽活動や、滑川高校科学部の皆さんとのコラボレーション事業として、国立遺伝学研究所で開発された桜「富川桜」を、薬学博士富川宗博先生の指導の下、挿木や接木ではなく“種子から発芽・育成する研究”に取り組んでいます。



写真2 滑川産チューリップの植栽活動

滑川市を代表する公園としては、今では梅雨の風物詩となった花菖蒲と『平成の名水百選』に選ばれた“行田の沢清水”がある「行田公園」のほか、広く富山平野を見渡し自然を思いっきり満喫できる「東福寺野自然公園」、市民の健康寿命延伸を目指して健康・体力づくりとスポーツ・レクリエーション活動の総合拠点となる「滑川市スポーツ・健康の森公園」、野球やソフトボール、パークゴルフ、3×3バスケットなど、軽運動から本格的な試合まで幅広く楽しめる「滑川運動公園」があり、公園を訪れる方々が自分のペースで余暇を過ごせる場となっています。

これからも花と緑が豊かで、四季の移ろいを“見て”“触れて”“感じて”いただきながら過ごせる住みよい街づくりを目指して、緑化推進活動に取り組んで参ります。



写真3 地元保育園の子供たちとの地域花壇の植栽活動

富山で育つ宿根草の組み合わせとデザイン ～ 37 タツタナデシコ ～

職藝学院

教授 渡邊 美保子

タツタナデシコは、ヨーロッパ原産の常緑の宿根草です。花の色は、桃、濃桃、白などがあり、5月中旬から下旬にかけて開花します（写真1）。花には甘い香りがあり、開花した時の草丈は25cm位です。花が咲き終わっても青みがかった銀灰色の葉が美しいので花壇の縁どりに植えると明るい印象になります。

タツタナデシコの葉は向かい合って茎をくるむように付きます。4月中旬になると、細長い葉が垂直に並んで青緑色のハリネズミのような姿になり、花茎が上がってきます。花が咲く前のつぼみは、筒状のキャップのようなものの中で守られています。これは萼筒といいます。萼筒から渦巻き状に折りたたまれたつぼみが顔を出し、桜色のソフトクリームのような形になると翌日には開花します。茎の先端の花が咲くと、必ずその下でつぼみが順番待ちをしています。一つ咲くと数日後にはその下の花も咲き、数日後には、またその下の花が咲きます。

タツタナデシコは5枚の花びらを持ち、花びらの縁にはたくさんの切れ込みがあります。花の中心を見ると、赤色の絵の具を付けた筆で丸を描いたような模様が見えます（写真2）。花が開いたばかりの花びらは白色で、中心の模様は鮮やかな赤色です。7日ほどかけてこの赤い色が花びらの先に運ばれて全体が桃色に染まってゆきます。開花して2日後には2本の雌しべが出てきて、先端はくると丸くなります。花の香りが強くなるのはこの頃です。花びらは、7日ほどでくたびれてゆき、いったん透明になってから干からびて知らぬ間に落ちてゆきます。萼筒は緑色のまま残されるので花が終わってしまったような気分にはなりません。花が終わると開花した茎の基部は木質化してゆきます。そのため、木質化した茎は地面を横に這ってゆき、その先に新芽を伸ばすことを毎年繰り返して陣地を広げてゆきます。

タツタナデシコは、日当たりを好み乾燥にも良く耐えます。ヨーロッパ原産のため、酸性土壌はあまり好みません。中性程度であれば花付きも良いようです。水はけの悪い所や常に湿っている所では、木質化した茎が湿気を嫌い枯れてゆくので植え付ける場所に注意をしましょう。



写真1 桃色のタツタナデシコとリシマキア・ヌムラリアの品種オーレア（手前）。5月下旬



写真2 タツタナデシコの本の花茎。向かって左の花は開花して9日目様子。一つの花は12日間ほど咲く。中央の花は開花したばかりで、まだ雌しべが出ていない。向かって右の花は、開花2日目、雌しべが出てきたところ。左上に見えるのがこれから咲くつぼみ。

庭木に利用する樹種の特徴と管理

～ ローズマリー ～

日本樹木医会富山県支部

樹木医 西村 正史

我家には、あまり目立ちませんが、庭の片隅に1m未満のローズマリーが2本あります。ところが、今年の雪解け後の姿は例年になく哀れで、1本は完全に枯れ、もう1本は深刻な状態でした。

これは、最近雪が少ないので雪囲いをしなかったところに、1mを超えるような積雪があったためです。かろうじて生きて残った1本は、枯れた枝や雪折れした枝を取り除くと葉や枝が非常に少なくなり、枯れるのではないかと心配しましたが、今は元気に育っています。

1 特徴

ローズマリーは地中海沿岸地方が原産で、シソ科に属する常緑性の低木です（写真1）。和名はマンネンロウです。漢字では「迷迭香」と表記しますが、この表記は中国語表記と同じです。非常に強健で、乾燥した痩せ地でも育ちます。また強風にもよく耐える性質なので、非常に育てやすい樹木です。

真っ直ぐ上に伸びる木立性と地面を這うように伸びるほふく性があります。さらにこれらの中間型のものもあります。木立性のもは2m程度まで伸びるので生垣として、ほふく性のもはグラウンドカバーとして、それぞれ利用されています。花は11月から5月にかけて、青から青紫の小さな花を咲かせます（写真2）。

ローズマリーはハーブの仲間として古くから知られています。葉を利用したハーブティーはツンと刺激的な香りで、頭がすっきりします。また強い香りを持つので、臭いの強い肉や魚の料理にも使用されます。

2 維持管理

ローズマリーの特徴から、多少切りすぎてもどんどんと枝が伸びます。混み合ってくると、株の中に湿気がたまったり日光が十分に届かなくて葉が枯れたりするので、早めに剪定してください。湿気のある場所では、根腐れなどを起こすので、植えないようにしましょう。植えつけ時には、土に腐葉土や堆肥と元肥を施しますが、その後はほとんど不要です。根が深く張っていれば、水やりもほとんど必要ありません。

実生でも増やすことができますが、挿し木が適しています。春や秋に病気や害虫のついていない

健康な枝を10～15cmほど切り取って、下半分ほどの葉を取り除きます。1時間ほど水あげをしてから、水を十分しみ込ませた清潔な土に挿し、ぐらつかないようにまわりの土を軽く押さえませます。その後、土が乾燥しないように半日陰で管理すると、1か月ほどで発根します。

病虫害に強い樹木ですが、病害ではうどんこ病が、虫害ではアブラムシやカイガラムシが発生することがあります。前者では、トップジンM水和剤やトリフミン水和剤等の殺菌剤を、後者ではマツグリーン液剤2やイマージ液剤等の殺虫剤を、それぞれ使用してください。

積雪は近年少ない傾向にありますが、今後も今年のような大雪は必ずあると思います。ローズマリーに限らず庭木を雪の害から守るためには、大変かもしれませんが、雪囲いを毎年実施することが大切です。



写真1 ローズマリー
2010.10.21 県中央植物園にて



写真2 ローズマリーの花と葉
2012.11.5 県中央植物園にて

とやまの花壇 ～富山市 寺崎さんの花壇～

富山県内には、地域の皆さんが丹精込めてお世話されている素晴らしい花壇があふれています。花とみどりの癒しのスポットを是非、探訪ください。

1 花壇の特色

富山市願海寺にお住まいの寺崎啓乃さんは、転勤族のご主人とともに帰郷されたのを契機に、自宅で花壇・野菜作りを始められました。まったくの未経験者でしたが、ご主人の協力を得ながら、宿根草と一年草を組み合わせた華やかでボリューム感溢れる花園を造り上げ、近隣の皆さんの楽園となっています。

<主な表彰歴>

H19～H27 県花のまちづくりコンクール(個人・一般花壇) 最優秀賞 2回、特別賞 1回など連続入賞

H28～R 2 県花のまちづくりコンクール

推進モデル花壇、プレミアム花壇

H28、R 2 全国花のまちづくりコンクール 奨励賞

2 活動概要

(1) 取組み

- 自宅前の道路沿いの畑を、宿根草と一年草を組み合わせた華やかな花壇に変貌させました。今では、オープンガーデンとして来訪の皆さんに、お花畑で好きな花を摘み取ってのブーケ作りや寄せ植え、こけ玉づくりなどを楽しんでもらっています。また、宿根草の株や種は余分があればお分けし、花の持つ魅力を伝え、花づくりの楽しさを体験していただいています。
- 近隣の老田保育所の花壇づくりに協力し、お子さんたちに花苗・球根の植え方や土づくり、育った花を使ったフラワーアレンジなどを教え、子供たちから元気もらっています。また、慈光園(養護老人ホーム)の花壇づくりでも、宿根草や種だんごなどの植栽体験のお手伝いをしています。
- 五福運動公園の花壇づくり、富山大学電停前・富山短大バス停前の花飾り、地区内9箇所のプランターの花苗植え込みなど、地域の皆さんとともに花の輪づくりに取り組んでいます。



写真1 14歳の挑戦のお子さん達と種まきた黄花コスモスとマリゴールド。富山大学電停前付近 2019.8月中旬

(2) 花壇の管理と工夫

コストを抑えること、土づくりによる環境への配慮を心がけています。

- 宿根草を株分けして増やし、こぼれ種や球根を利用し、種から花苗を育苗するなど、コスト削減に努めています。

- 腐葉土はトラックで運び入れ、牛ふんと一緒に作土に鋤き込んでいます。また、落ち葉や花がら、野菜くずで堆肥づくりをし、活用しています。
- 秋の宿根草の株分け時には、翌年の花壇のデザインを考えながら、植え替えに励んでいます(大変ですが…)。



写真2 自宅前の道路沿いの花園。通勤・通学の皆さんを楽しませています。7月～8月

3 花壇への思い

代々受け継がれた実家に帰ってきて、「花がたくさん咲いていたら、素敵だろうなあ」と、始めた花壇づくりも17年となりました。

今では、花好きの方が、我が家のお花畑で花摘みをし、ブーケ作りなどを楽しんでいます。皆さんのあふれる笑顔を見ると、とても良かったなあと思います。「花と共に時を重ね、花のもつ優しさにあふれ、花を育てる喜びを感じ、花を眺めて潤う」ことを、私たちだけでなく、地域の皆さんにもおすす分けできたのかなあと思います。

これからも、花で笑顔をつなげ、地域が花であふれ、潤いのある地となり、花の輪が広がっていけばと願っています。

(以上、寺崎啓乃さんに、お話をお聞きしました。)

●花壇の概況

- 規模 230㎡(個人の花壇・庭園です)
- 見頃 7月～9月
- 住所 富山市願海寺661



ふれあいガーデンとともに

花と緑の銀行 上市支店 上市地方銀行

頭取 西野幸子 グリーンキーパー 山村きぬ子

現在、上市支店では男性1名、女性16名、計17名の頭取及びグリーンキーパーが上市町を花と笑顔で溢れる美しい花いっぱい町にすることを目指し、日々「花と緑」の活動を行っています。

現在は、新町60周年記念花壇「ふれあいガーデン」での花壇作りが主な活動となっております。この花壇は、天気の良い日は雄大な「劔岳」が望めるスーパー農道沿いのオープンスペースに整備されており、多くの町内外の方々に見ていただけるようになっています。

約4年前に、会員の方から庭土を寄付していただきました。それを機に自分たちの手で整備し、ふれあいガーデンを広くしようという声があがり、毎週のように集い、配置・デザインなどを決めました。会員の手でテストピースや石を並べて花壇の側面を作りました。混合用堆肥や燻炭などを多くの方から提供していただき、何とか花壇の形が出来上がりました。

まだまだ整備不足ではありますが、毎月の定例会において、今後の課題、反省、夢などを話し合っており、より素晴らしい花壇にしていきたいと思っております。広い花壇が出来上がり、花壇面積は約726㎡になりました。去年は主に一年草を中心に、初夏から晩秋にかけて花が美しく見える花壇を作りました。今年は維持管理がしやすく、周りの風景に

なじむ自然な花壇を目指し、宿根草・球根類・低花木などを積極的に利用していきたいです。

「お出迎えのおもてなし」の心が伝わるよう、町内外から通行する人に癒しの気持ちを提供し、町のイメージアップに繋がることを目指し、花作りを会員が協力して行っています。この花壇がほかの地域の花作りへの参加や交流に繋がるきっかけになれば、と願っています。

これからも「元気いっぱい・花いっぱい上市支店」として頭取、グリーンキーパーらが協力し、楽しんで活動していきたいと思っております。



ふれあいガーデン 2020.7月

報告コーナー

令和2年度花とみどり・ふれあいフェアを開催

2月27日(土)、28日(日)の二日間、第31回となる「花とみどり・ふれあいフェア」をファボレ(富山市)にて開催しました。

コロナ禍の中での開催となり、「マスクの着用やアルコール手指消毒、3密の回避」など、コロナウイルス感染予防に努めながら、体験教室、花の展示コーナーなどを中心に実施しました。

ご来場の皆さんには、ご家族やお友達と一緒に花と緑を見て、ふれていただき、心と体をリフレッシュしていただきました。



花束づくり教室 2021.2.28

コンテナガーデンコンテスト入賞作品

賞	市町村	地方銀行	出展団体	タイトル
大賞	射水市	小杉	小杉花作り同好会	里山(太閤山)の早春
優秀賞	砺波市	東野尻	東野尻花と緑の推進協議会	となみ野の春を彩る
佳作	南砺市	城端	城端支所	散居村
佳作	氷見市	余川	余川地方銀行	希望 明るい明日が来る
佳作	高岡市	立野	立野栄町花づくり会	エール(かがり火)



大賞 小杉花作り同好会

* 応募総数：12作品 県内各地の「花と緑の地方銀行」から出展

●わたしの寄せ植え入賞作品

賞	氏名	市町村	タイトル
最優秀賞	中林富美子	氷見市	里山の春
優秀賞	宮野 裕子	砺波市	となみ野の早春
優秀賞	菅田 桂子	富山市	希望の光
新人賞	坪田 朋子	高岡市	-Oval of Spring- めざめ
佳作	早川 澄子	南砺市	優しく匂う春の香
佳作	吉居 紀子	南砺市	やわらかな春の陽ざし
佳作	川淵 嵩広	高岡市	光あふれる花畑
佳作	星野恵美子	上市町	春色のハーモニー



最優秀賞 中林富美子

* 応募総数：24作品 一般の方から出展、1作品 特別出展（審査対象外）

🌸 お知らせコーナー（6月～8月の主なイベント）

🌿 令和3年度花と緑のコンクール

コンクール名	応募締切	審査日
○ 富山県花のまちづくりコンクール 学校花壇部門	7月12日（月）	7月19日（月）～20日（火）
幼稚園・保育所花壇部門	7月12日（月）	7月21日（水）
プレミアム花壇部門	7月15日（木）	7月28日（水）
花の道	7月15日（木）	7月29日（木）～30日（金）
一般花壇部門	7月20日（火）	8月4日（水）～6日（金）
○ 花と緑の標語コンクール	7月30日（金）	8月下旬
○ 花と緑のポスター原画コンクール	9月10日（金）	9月中旬

* 花と緑の銀行HPでご案内します。ご参照ください。

🌿 富山県中央植物園

- 夜間開園「ゲッカビジン観賞」 6月中旬～7月下旬（開花日2日間）19：00～21：30
- 早朝開園「ハスの花の観賞会」 7月31日（土）・8月1日（日）6：00～
- 夏休み子ども企画「オオオニバスに乗ってみよう」 8月6日（金）～8日（日）
- 夜間開園「夜の熱帯植物探検」 8月20日（金）・21日（土）18：30～21：00
（詳細はHPをご覧ください。お問い合わせは富山県中央植物園へ。参加には入園料が必要です。）

🌿 県民公園 頼成の森

- 頼成の森「花しょうぶ祭り」 6月中旬 10日間 9：00～17：00
- 守り人と歩く頼成の森 <カブトムシウォッチング>
7月18日（日）10：00～11：30 定員：15名 参加費：無料
- 野鳥と昆虫の観察会 7月25日（日）9：30～12：00 定員：25名 参加費：無料
（詳細はHPをご覧ください。お申し込み・お問い合わせは県民公園 頼成の森へ。）



※ お願い！！

- 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、各行事の中止や内容の変更を行う場合があります。ご理解の上、各行事の詳細はその都度、担当部署へお問い合わせ下さい。
- 「3密回避やマスク着用、手洗い・消毒」に努め、新型コロナウイルスを乗り越えましょう！



編集発行 公益財団法人 花と緑の銀行
〒939-2713 富山市婦中町上轡田42
TEL 076-466-2425 FAX 076-465-5923
<https://www.bgtym.org/fgbank/>

富山県中央植物園
〒939-2713 富山市婦中町上轡田42
TEL 076-466-4187 FAX 076-465-5923
<https://www.bgtym.org/>

県民公園頼成の森
〒939-1431 砺波市頼成156
TEL 0763-37-1540 FAX 0763-37-1450
<https://www.bgtym.org/ranjyounomori/>



花と緑の銀行だより 219号

発行日 令和3年(2021年)5月
再生紙を使用しています。